

ERE information

Vol. 17 2010年2月19日発行

発行／特定非営利活動法人 日本経済学教育協会・事務局 発行責任者／斧崎 幸彦
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3番21号／電話(03)3267-4819／http://www.ere.or.jp/

Contents

- ▶ ERE (6科目) の個人賞は上位24名、
ミクロ・マクロ (2科目) のトップは筑波大学 伊神春奈さんの490点
- ▶ 創価大学経済学理論同好会が大学対抗戦5連覇、新記録達成！
 - ・多くの人に囲まれて学ぶ姿勢を持ち続けられた (優勝チーム 小島健さん)
 - ・授業や公務員試験の勉強に役立ったERE受験 (準優勝チーム 小野真太さん)
 - ・新たな知識に触れることが学ぶ意欲を再燃させる (個人賞トップ2連覇 安田雄一さん)
- ▶ **新設学部・学科のご紹介** 摂南大学 (経済学部) / 日本大学 (経済学部金融公共経済学科)
- ▶ 就活のエントリーシートにEREの成績を明示

《第17回 ERE試験結果》

ERE (6科目) の個人賞は上位24名

ミクロ・マクロ (2科目) のトップは筑波大学 伊神春奈さんの490点

2009年12月6日 (日) に実施いたしました、第17回ERE/EREミクロ・マクロの成績結果等がまとまりました。全般的な成績概要は次表 (資料1・2) のとおりです。特に今回は、前回苦戦したミクロ経済学は、過去最高の平均点となりました。一方、マクロ経済学については前回の成績を維持し、今回も良好な結果となっています。また、専門科目では金融論が前回よりやや平均点が落ちたものの、他の科目では前回は上回る結果が得られ、全体的にはERE、EREミクロ・マクロともに好成績でした。EREの個人賞は24名が獲得、EREミクロ・マクロのトップは筑波大学伊神春奈さんの490点でした。

《資料1-1》科目別成績

『ERE』

科目	ミクロ経済学	マクロ経済学	財政学	金融論	国際経済	統計学
配点	250点	250点	100点	100点	100点	100点
平均点	156.2点	129.3点	59.5点	46.1点	50.2点	41.3点
(前回)	110.7点	130.3点	52.0点	48.3点	44.2点	39.7点
標準偏差	53.21	46.58	17.75	18.28	23.01	20.24
(前回)	43.28	54.49	23.91	24.13	23.46	21.96

《資料1-2》

『EREミクロ・マクロ』

科目	ミクロ経済学	マクロ経済学
配点	250点	250点
平均点	116.2点	93.4点
(前回)	89.2点	100.3点
標準偏差	44.87	36.75
(前回)	31.50	38.55

《資料2》

成績概要

	ERE	EREミクロ・マクロ
応募者数	145名	1,547名
受験者数	105名	1,244名
平均点	482.7点	209.6点
標準偏差	139.10点	73.07点
最高得点	780点	490点
最低得点	150点	30点

《資料3》団体応募状況

ERE/EREミクロ・マクロ≥10名					
1	琉球大学	105名	20	大阪商業大学	25名
2	東京国際大学	103名	22	埼玉大学	24名
3	大阪府立大学	99名	23	久留米大学	22名
4	大原簿記公務員専門学校 小倉校	74名	23	弘前大学	22名
5	中央大学	72名	25	九州産業大学	21名
6	成蹊大学	66名	26	慶應義塾大学	20名
6	日本大学	66名	27	関東学院大学	18名
8	明治学院大学	63名	27	広島修道大学	18名
9	明治大学	41名	29	財務省	16名
10	法政大学	40名	30	酪農学園大学	15名
11	名古屋学院大学	37名	31	岩手県立大学	14名
12	大分大学	34名	32	大阪経済大学	13名
13	宇都宮大学	33名	32	福山大学	13名
14	長崎県立大学	32名	34	高崎経済大学	12名
15	大原公務員医療専門学校 福岡校	31名	34	東洋大学	12名
16	創価大学	29名	36	旭川大学	11名
17	立命館大学	28名	36	沖縄大学	11名
18	福島大学	27名	36	和歌山大学	11名
19	明海大学	26名	39	熊本壺溪塾学園	10名
20	早稲田大学	25名	39	名古屋市立大学	10名

《資料4》『ERE』上位成績者

順位	大学・勤務先名	所属	氏名(敬称略)	ランク
1	創価大学	経済学部	三田光洋	S
2	福島大学	経済経営学類	安田雄一	S
3	(非公開)			A+
4	創価大学	経済学部	小島健	A+
5	財務省	財務総合政策研究所	山下直樹	A+
5	(非公開)			A+
5	IHI	(非公開)	荒尾俊輔	A+
8	福島大学	経済経営学類	丹治億勇	A+

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名（敬称略）	ランク
8	創価大学	経済学部	三 谷 輝 義	A+
10	京都大学	公共政策大学院	高 原 俊 之	A
11	東京大学	経済学部	(非公開)	A
11	熊本壺溪塾学園	公務員専攻科	中 野 誠 也	A
13	東京大学	農学部	津 田 康 平	A
13	文部科学省	物質・材料研究機構	名 雪 哲 夫	A
13	創価大学	経済学部	森 岡 久 美	A
13	熊本壺溪塾学園	公務員専攻科	深 迫 広 之	A
17	創価大学	経済学部	佐 藤 浩 司	A
18	慶應義塾大学大学院	商学研究科	新 屋 和 彦	A
19	(非 公 開)			A
20	(非 公 開)		清 水 邦 敏	B+
21	(非 公 開)			B+
21	前川公認会計士事務所	富山大学 経済学部	前 川 克 博	B+
21	熊本壺溪塾学園	公務員専攻科	堀 健太郎	B+
24	埼玉大学	経済学部	大 谷 昌 弘	B+
24	名古屋大学	経済学部	滝 澤 俊	B+

《資料5》『EREミクロ・マクロ』上位成績者

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名（敬称略）	ランク
1	筑波大学	国際総合学類	伊 神 春 奈	S
2	立命館大学	経済学部	劉 洋	S
3	京都大学	経済学部	西 津 鷹 弥	S
3	琉球大学	法文学部	比 嘉 一 仁	S
5	名古屋市立大学	経済学部	品 田 克 海	S
6	東北大学	経済学部	高 木 朝 光	S
6	福島大学	経済経営学類	小 野 真 太	S
8	福島大学	経済経営学類	伊 藤 達 郎	S
9	宇都宮大学	農学部	蓮 實 聡	S
9	福島大学	経済経営学類	森 和 也	S
9	明治大学	政治経済学部	池 田 直 人	S
9	早稲田大学大学院	先進理工学研究科	鈴 木 浩 介	S
9	慶應義塾大学	文学部	蛇 塚 祐 生	S
9	名古屋市立大学	経済学部	長 屋 雄 太	S
9	立命館大学	経済学部	瀬 津 順 一	S
9	大阪府立大学	経済学部	村 岡 佑 樹	S
9	(非 公 開)		森 隆 史	S
9	宇都宮大学	農学部	猪 狩 隆 典	S
19	東北大学	経済学部	冨 田 和 樹	S
19	東北大学	経済学部	阿 部 道 和	S

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名（敬称略）	ランク
19	埼玉大学	経済学部	新 谷 竜 児	S
19	中京大学	経済学部	杉 浦 一 輝	S
19	弘前大学	人文学部	齊 藤 賢 幸	S
24	東北大学	経済学部	箭 内 綾 子	S
24	東北大学	経済学部	千 田 崇 史	S
24	福島大学	経済経営学類	皆 川 章 洋	S
24	埼玉大学	経済学部	藤 田 正 博	S
24	上智大学	経済学部	日比谷 篤	S
24	上智大学	経済学部	関 俊 祐	S
24	名古屋市立大学	経済学部	津 坂 友 樹	S
24	同志社大学	文学部	須 永 美 穂	S
24	大原公務員医療専門学校 福岡校	九州大学経済学部	阿 部 智 史	S
24	琉球大学	法文学部	安 里 翔 太	S
34	創価大学	経済学部	志 水 花与子	S
34	新潟大学	経済学部	小 林 夏 樹	S
34	琉球大学	法文学部	平 山 陽一郎	S

《第12回大学対抗戦》

創価大学経済学理論同好会が5連覇、新記録達成！

福島大学チームが準優勝、3回連続／個人成績のトップは安田雄一さんで2連覇

第12回「大学対抗戦」は、名古屋市立大学から新たに2チームのエントリー、また、今回初めてとなる女子チームの「東洋のE・オストロムたち」のエントリーのもと、計11校17チームにより例年になく高いレベルでの競争となりました。その結果、4連覇中の「創価大学経済学理論同好会」が福島大学経済分析同好会の猛追をかわし、5連覇の新記録達成です。

準優勝は、3回連続の準優勝で「福島大学経済分析同好会」チームです。同チームは前回同様、僅差で惜しくも優勝を逃しましたが、個人賞でトップの成績優秀者を出しています。

第3位は1,540点を獲得した熊本壺溪塾学園「平成の適塾生たち」チームが入りました。これにより、同チームは、優勝（第2回）、準優勝（第4回）を含めて通算5回目の3位以内入賞を果たしました。

一方、「大学対抗戦」個人成績のトップは、480点を得点した安田雄一さん（福島大学経済分析同好会）です。安田さんは、前回に続き個人成績2連覇となります。なお、個人賞は400点以上15名の方が獲得し、初参加の名古屋市立大学のチームからは2名が個人賞を獲得しています。今回は高いレベルでの競争となり、対抗戦参加チームの平均点も322.5点と前回は32.3点上回る結果となりました。

順 位	チーム名	学校名	総合得点	平均点
優 勝	創価大学経済学理論同好会	創価大学	1,810点	452.5点
準優勝	福島大学経済分析同好会	福島大学	1,760点	440.0点
3 位	平成の適塾生たち	熊本壺溪塾学園	1,540点	385.0点

*参加メンバーの上位4名の総合成績です。

■大学対抗戦 優勝・準優勝チーム、個人賞トップのコメント■

☆優勝（5連覇） 創価大学経済学理論同好会

多くの人に囲まれて学ぶ姿勢を持ち続けられた

この度は、5連覇という快挙を遂げることができ大変に嬉しく思います。私が初めて大学対抗戦に参加したのは大学2年生の時でした。一流大学の方々と競い合うことに胸を躍らせ、同じ志をもった先輩方と机を囲み、必死に勉学に打ち込んだことを今では懐かしく思います。

そして、良き友人、先輩、後輩に囲まれながら、学ぶ姿勢を持ち続け、充実した大学生活を送ることができました。5連覇に至るまで応援してくださった創始者、大学関係者の方々、また、このような場を提供してくださったE R E 関係者の皆様に感謝を申し上げたいと思います。

本年度で私は大学を卒業しますが、後輩たちが私と同じようにE R E をとおして良き連帯を作り、切磋琢磨するなかで成長することを願っております。

(創価大学経済学理論同好会 小島健さん)

☆準優勝 福島大学経済分析同好会

授業や公務員試験の勉強に役立ったE R E受験

前々回、前回、そして今回と3連続での準優勝となりました。このような結果を残すことができたのも、我々に熱心に指導してくださった先生方、先輩方のおかげです。

ここで得た知識は、大学の授業や公務員試験の勉強など、様々な場所で役立っています。同級生の受験者の間でも、経済学について中身のある議論ができるようになってきました。皆、良き仲間であるとともに、良きライバルです。

来年度は頼れる先輩方も卒業し、我々が後輩たちを指導していかなければなりません。これまで先輩方が築いてきた伝統や実績を我々の代で止めてしまわぬよう、これからもより一層精進したいと思います。

(福島大学経済分析同好会 小野真太さん)

☆個人賞トップ2連覇

新たな知識に触れることが学ぶ意欲を再燃させる

前回に続き、今回も個人賞トップという成績を取ることができました。チーム優勝という目標を達成できなかったことは残念ですが、夢は後輩たちに託したいと思います。

経済学を学ぶうえで問題を解くことは非常に重要だと思いますが、問題演習を積み重ねる意欲を維持することが難しいのも事実です。大学対抗戦への参加は、学習意欲を高めるという意味で非常に有用だと思います。また、面白いと思った理論や問題、自分では解けなかった難問について友人と議論するのも良い刺激になりました。このような取り組みを通して得たものは、より高度な内容を理解するうえでの足がかりとなり、新たな知識に触れることが学ぶ意欲を再燃させるという良い循環をもたらしてくれたと思っています。

卒業するため、大学対抗戦への参加はこれで最後です。大学で経済学を学ぶにあたり、多くの方々のお力添えをいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

(福島大学経済経営学類4年 安田雄一さん)

新設学部・学科のご紹介

▼ 摂南大学—地域経済と観光経済に重点をおく経済学部

2010年4月開設されます。新設の経済学部では、経済学の理論をベースに、「地域経済」と「観光経済」に重点を置き、現代が抱えるさまざまな課題に取り組み、地域に貢献できる人材を育成するために、多彩なプログラムを用意しています。まず、「マクロ経済学」「統計・計量経済学」などの経済理論を基礎科目として学習したのち、2年次より「地域経済コース」「観光経済コース」に別れます。3年次からは「フィールド調査」を積極的に取り入れ、地域経済の動向を探り、経済主体の行動原理や制度の仕組みを理解します。

また、一流ホテルやエアラインなどのインターシップや地元自治体が進める事業に参加し、行政とともに地域活性化のアイデアを考えるプログラムも予定しています。

(大学のホームページ、新設学部の案内より抜粋／詳細は大学でご確認ください)

▼ 日本大学経済学部—金融公共経済学科の目標

2010年4月、社会の基盤を担う人材を育成する金融公共経済学科が設立されます。

社会の基盤を担う優れた人材を輩出し、日本の公共政策や金融システムの変革に参加することが同学科の目標。そのため卒業後のゴールは明確で、公共経済プログラムの学生は、国家公務員Ⅰ種・Ⅱ種、地方公務員、公共政策大学院などを、金融プログラムの学生は、シンクタンク、金融機関、コンサルティング会社、大学院などをめざす。また、基礎知識と実体経済での応用能力の両面から経済学の実力レベルを客観的にチェックでき、また、就職活動にも役立つERE（経済学検定試験）の受験を推奨している。

(大学のホームページ、新設学科の案内より抜粋／詳細は大学でご確認ください)

大学対抗戦 参加チーム募集！

エントリー料は無料

第13回 EREミクロ・マクロ「大学対抗戦」は、2010年
7月4日(日)に実施します。

<受付期間>

2010年4月20日～5月21日 消印有効

詳細は日本経済学教育協会のホームページをご参照ください。

<http://www.ere.or.jp> e-mail:info@ere.or.jp

就活のエントリーシートにE R Eの成績を明示

E R E（経済学検定試験）は、Economics Record Examinationの略称で、大学で学ぶ経済学の理解度を評価する検定試験として、2002年3月より年2回実施いたしております。最近、学部学生が就職活動にあたり、エントリーシートにその成績を明示し自己アピールの一手段として利用する学生のみなさんが増えていきます。そのため、採用ご担当者の皆様に本試験の概要につきましてご理解いただきたく、ご案内を申し上げます。

■特 徴

本試験の結果は合否ではなく、SランクからDランクまでの7ランクで評価され、かつ、受験回数に制限がないことより、何回でも受験が可能です。そのため、本検定試験を経済学に対する学習成果の検証とし、多くの大学生等が利用しております。

また、大学対抗戦においては、参加者自らが自主的にチームを結成し成績を競うことにより、大学の枠を越えお互いに経済学を理解しあう場として利用されています。

■出題科目等

〔E R E〕四答択一式・90問・180分

ミクロ経済学：25問／マクロ経済学：25問／財政学：10問／金融論：10問／
国際経済：10問／統計学：10問 計90問・900点満点

〔E R Eミクロ・マクロ〕四答択一式・50問・100分

ミクロ経済学：25問／マクロ経済学：25問 計50問・500点満点

■活 用 例

- ・専門課程の単位認定試験として
- ・大学におけるカリキュラムの効果測定として
- ・経済学系大学院入学の専門科目の代用として
- ・就職活動における経済学に対する理解度の証明として
- ・自己啓発等の成果の検証として
- ・公務員試験の準備として

■備 考

現在、E R E（経済学検定試験）は、7月・12月の年2回、全国16の試験会場において実施しており、年間約3,000名強の方々が受験しています。その主な受験層は約8割が国公立・私立の大学生・大学院生で、約2割が官公庁・民間企業の受験者となっています。

《資料請求・お問合せ先》

特定非営利活動法人 日本経済学教育協会 事務局
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3-21
TEL：03-3267-4819／e-mail:info@ere.or.jp

— 経済学の学習到達度を測定 —

2010年度 第18回 E R E 実施要領

『E R E』（6科目）

実施回	第 18 回
試験日	2010年7月4日（日）
試験時間	午後1時00分～午後4時00分（180分）
受付期間	2010年4月20日（火）～2010年5月21日（金）〈消印有効〉
受験料	5,250円（税込）
出題科目	ミクロ経済学／マクロ経済学／財政学／金融論／国際経済／統計学
出題形式	4 択一式／90問，1 問10点，900点満点
持込品	受験票、筆記用具（HB程度の鉛筆またはシャープペンシル〈ボールペンは不可〉、消しゴム）、電卓（ただし、金融計算電卓・関数・メモ機能付きは不可）、顔写真付身分証明書（学生証・運転免許証・パスポート等）

『E R E ミクロ・マクロ』（2科目）

実施回	第 18 回
試験日	2010年7月4日（日）
試験時間	午後1時00分～午後2時40分（100分）
受付期間	2010年4月20日（火）～2010年5月21日（金）〈消印有効〉
出題科目	ミクロ経済学／マクロ経済学（注）
受験料	3,150円（税込）
出題形式	4 択一式／50問，1 問10点／500点満点
持込品	受験票、筆記用具（HB程度の鉛筆またはシャープペンシル〈ボールペンは不可〉、消しゴム）、電卓（ただし、金融計算電卓・関数・メモ機能付きは不可）、顔写真付身分証明書（学生証・運転免許証・パスポート等）

（注）『E R E』のミクロ経済学・マクロ経済学と同一問題です。

E R E 経済学検定試験 問題集

2010年7月受験用 / 3月下旬発売予定

- 第14回～第17回の試験問題360問と解答・ポイント解説を掲載
- 出題傾向の把握が可能

日本経済学教育協会 認定 経済法令研究会 編
A 5 判 320頁 予価1,995円（税込予価）